

健康寿命延伸に向けた食品・食生活実現プロジェクト

1. 研究目的

国産農産物・食品の免疫機能等への効果に関するヒト介入試験等による科学的根拠の提示及び食事バランスの適正化の提案を行う技術の開発により、農産物等の高付加価値化と需要拡大、ひいては国民の健康寿命延伸に貢献する。

2. 研究背景

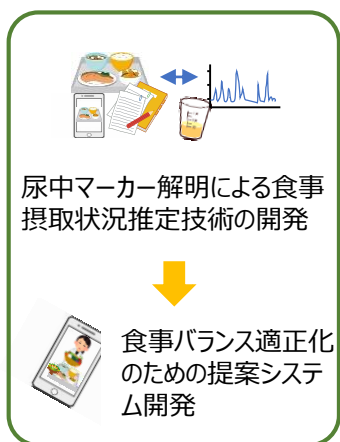
免疫機能維持や健康増進に寄与する食への期待が高まっており、免疫機能の維持・改善に有効な農産物の効果検証や、基本となる食事バランスを適正化する技術が求められている。

そこで、これまでの農産物等の機能性表示や免疫機能に関わる研究成果を発展させ、また栄養疫学や食品成分分析等に関わる研究を応用してこれらを実現する。



3. 研究内容

- ① 農産物等の免疫機能等への効果検証のため、国産農産物等の作用機構を解明、ヒト介入試験で実証
- ② 緑茶の免疫機能等への効果検証のため、マイクロバイオームとの関連を解明、ヒト介入試験で実証
- ③ 食生活適正化技術開発のため、バイオマーカー測定と食事調査等により食事摂取状況推定技術を開発



4. 達成目標・期待される効果

達成目標

- ・ 免疫機能等の機能性表示に必要な科学的根拠を2つ以上提示
- ・ バイオマーカーを用いた食事摂取状況推定、適正化技術の開発



期待される効果

- ・ 機能性表示食品の新分野開拓による農産物等の市場拡大
- ・ 野菜等の国産農産物等の消費拡大と国民の健康維持への貢献